

## 令和5年度平泉町消防委員会会議録

1. 開催日時 令和6年3月29日（金） 午前9時～午前10時
2. 開催場所 平泉町役場2階 庁議室
3. 出席委員 委員6名のうち5名出席  
町長、総務課長、消防担当者

### 4. 協 議

西洞委員長が欠席のため、佐々木職務代理者が議事進行。

- (1) 令和5年度事業報告について
- (2) 令和6年度計画（案）について  
事務局より資料により説明。

### 【意見・質問等】

#### ○千葉勇夫委員（意見）

消防用格納箱のホース等が劣化しているのが散見される。定期的な更新をお願いしたい。

#### ○佐々木職務代理（質問）

全国ニュースでは、ポンプ操法大会の出場を見送る消防団も多くなってきていると聞くが当町はどうか。

→（事務局）

令和5年度実施の一関地区支部ポンプ操法合同訓練では第7分団が参加し、令和6年度に行われる岩手県ポンプ操法大会に出場することとなっている。大会出場にあたっては、単独の分団のみで対応するのではなく、訓練等のサポートなどを消防団全体で行う予定。

#### ○千葉勇夫委員（意見）

地域防災計画が改定されたが、計画を絵に描いた餅にするのではなく、地域毎に防災訓練を行うなど、集中的な訓練をしていくべき。

→（事務局）

防災対応は組織的に動くことができる態勢づくりが重要であり、地区ごとに訓練を実施する場合は、道の駅に備蓄している食料などの備蓄品で期限間近のものを提供することなども検討する。

#### ○千葉正委員（質問）

先の新聞記事で、町総合計画審議会で消防に関する話題があがったと聞いているがどのような内容だったか。

→（事務局）

婦人消防協力隊のなり手が不足しているという意見が出されたが、協力隊は

ボランティア活動ではあるが、火災予防や有事の災害対応など地域にとっては必要不可欠な組織である。全国の事例などを参考に人員確保に努めていく。

→（青木会長）

地域防災をいったいどのようにしていくかを地域で自ら考え、自分たちでどう支えていくかを議論していくことがもっとも大事である。

○千葉勇夫委員（意見）

過去に、紫波町の防災演習に参加した時のこと、親子で在籍する団員を表彰していて良いと思った。当町でも取り入れてみてはどうか。

→（佐々木委員）

当町でも昔、親子三代で消防団を務めた人を表彰していた。

→（事務局）

幹部会等にも諮って検討する。

(3) その他 なし